

床下の湿気対策とシロアリ予防を同時に施工

既設住宅の床下の土壌に対して、水性アクリル樹脂による防蟻・防湿皮膜を形成する工法。処理層に含まれる防蟻成分がシロアリの侵入を防ぐとともに、土壌からの湿気を大幅に抑え、床下に発生するカビや腐れを抑制する。

(一財) 建材試験センターの透湿量測定試験により、無処理土壌と比較して透湿量を約85%低減する効果が確認されている。

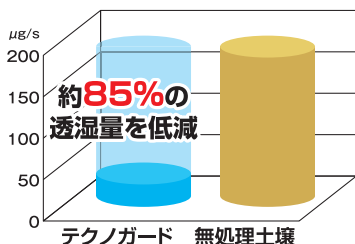
【特長】

- ①床下の防湿とシロアリ対策が同時に行える。
- ②コンクリート打設やシート敷設による湿気対策と比べ、短い工期で施工が可能。
- ③土壌やコンクリートと一体化し、強力に密着する。

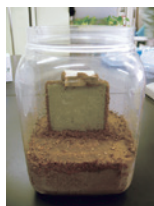


施工イメージ

■無処理土壌との透湿量の比較



■コンクリートブロックを用いた防蟻効果試験



無処理



テクノガード処理

無処理のコンクリートブロックでは、上部まで蟻道が構築され木片に食害が見られるのに対し、テクノガードにて処理をしたコンクリートブロックには蟻道は構築されず、木片にも食害が見られない。

■施工方法



①床下のガラ出し・整地



②床下点検口等からテクノガードを床下全面に散布



③施工完了 (樹脂中の水分が完全に抜ければ完全硬化)



専用の新型テクノガードスプレーヤー

問い合わせ先

株式会社アグリマート ☎03-5159-1711 <https://www.agrimart.co.jp/>